

# 第3号議案

農山漁村地域整備交付金事業(森林基幹道開設)  
 かつまやません なかのじょうまち ながのはらまち ひがしあがつままち  
 吾嬭山線 中之条町、長野原町、東吾妻町

着工年度  
 評価理由

平成5年度  
 再評価後5年経過

## 1. 事業の目的

- ・中之条町、東吾妻町、長野原町の森林資源に恵まれた地域で骨格的林道の整備を行い本路線の利用区域4,062haの76%を占める人工林等の森林整備を促進する。
- ・周辺集落の生活基盤整備及び集落間相互を連絡し、山村地域の路網形成を図る。



詳細位置は2事業概要と進捗状況(裏面)のとおり



## 2. 事業概要と進捗状況

### 事業概要

事業場所	なかのじょうまち おおあざ しもさわたり 中之条町大字下沢渡 ~ 中之条町大字入山	
区分	前回再評価時(H25)	今回
全体事業費	8,612百万円	10,046百万円
全体事業費増減の理由		労務費の上昇や法面保護工等の増加のため
事業期間	H5~H35	H5~H43
事業内容	道路延長 45,880m 幅員 5m	道路延長 45,880m 幅員 5m

### 事業経緯

年度	主な経緯
H5	全体計画調査
H6	工事着手
H13	計画変更

### 進捗状況

	全体計画	前回評価時の進捗状況(進捗率)	現在の進捗状況(進捗率)
事業費	10,046百万円	5,336百万円 (53.1%)	6,367百万円 (63.4%)
計画延長	45,880m	25,020m (54.5%)	29,711m (64.8%)

## 2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



事業期間	延長 (m)	累計延長 (m)	事業費 (千円)	累計事業費 (千円)	森林整備 実施面積 (ha)	備考
H5～H9	3,035		1,138,600			
H10～H14	4,186	7,221	1,396,000	2,534,600	141.5	
H15～H19	8,690	15,911	1,316,800	3,851,400	444.3	
H20～H24	7,532	23,443	1,484,180	5,335,580	695.1	
H25～H29	6,268	29,711	1,031,163	6,366,743	291.8	
H30～H34	4,927	34,638	1,273,400	7,640,143		
H35～H39	6,070	40,708	1,334,700	8,974,843		
H40～H43	5,172	45,880	1,071,420	10,046,263		
計	45,880		10,046,263		1,572.7	

凡 例	
利用区域	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
完成区間	<span style="background-color: black; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
未成区間	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>
国有林	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>

### ・早期完成に向けての取り組み

- ・H5～H9 : 区間①、②を優先区間とし、起点側、終点側それぞれのアクセス道路から工事に着手した。(4工区)
- ・H10～H14 : 区間①、②を優先区間とし、中間に位置する既設林道からの進入路を活用し事業を進めた。区間②について、平成13年度には全体計画を変更、連絡線形となる既設林道を改築区間に編入とすることで、コスト縮減及び早期完成を目指した。(6工区)
- ・H15～H19 : 区間①、②を優先区間とし事業を進めた。(7工区)
- ・H20～H24 : 区間①、②を優先区間とし事業を進めた。(6工区)
- ・H25～H29 : 区間①、②に加え区間④も優先区間とし事業を進めた。(4工区)  
中之条町・長野原町は全線開通となった。

縦道(既設道)と連絡したことに伴い、森林整備や生活道として利用が図られ、迂回路としての機能も向上した。

- ・H30～H43 : 前期に引き続き、未完成区間の工事を実施して早期に全線開通を図りたい。

### 3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- ・吾嬭山線は森林整備の促進や低コストな木材生産体制を構築するための基盤となる施設であり、目的・必要性は当初計画のとおりである。
- ・中之条町及び長野原町では既に全線が開通し、木材生産や森林管理の効率化はもとより、新たにイベントや通勤など地域住民の生活道としても活用され、未整備区間の東吾妻町でも開通区間と同様の利用が期待されており、事業の必要性に変化はない。



### 4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

- ・吾嬭山線は広大な森林の活用と中之条町・東吾妻町・長野原町を連絡し、山村地域の活性化や生活道として期待されており、安全確保の面から作業道による代替は不可能である。
- ・これまで開設工事とあわせ路線沿線の間伐などの森林整備面積は約1,570ha実施されており、森林整備コスト縮減のための機械化施業による林業経営を実現する上で、林道の開設による手段は適切である。



		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		林野庁公共事業における事前評価マニュアル		林野庁公共事業における事業評価マニュアル			
基準年		平成24年度		平成29年度			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工費	10,310,417	99.0%	13,298,867	99.1%		
	維持管理費	106,935	1.0%	122,669	0.9%		
費用合計 (C)		10,417,352		13,421,536			
便益 (千円)	木材生産等山村振興(林業)便益	11,163,834	70.8%	11,601,543	56.8%	木材生産等の経費縮減や木材の利用・生産増進便益 林業従事者の就労機会確保	
	森林整備経費縮減便益	965,998	6.1%	89,604	0.4%	森林管理の経費縮減便益	
	森林の公益的便益	3,533,672	22.4%	4,671,590	22.9%	森林の公益的機能の維持増進便益	
	森林の総合利用山村振興(一般)便益	111,315	0.7%	4,078,416	19.9%	森林の総合利用便益 一般交通便益	
便益合計 (B)		15,774,819		20,441,153			
費用対効果分析(B/C)		1.51		1.52			

## 5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画

不測の事態により長期化】

全体計画延長が約46kmと長大であり、既設道路を生かして開設工区を増やし工事を行ってきたが、公共事業費の縮減や年間工事量に限界があり、長期計画となっている。



## 6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

事業概要位置図のとおり、区間①②(①中之条町～東吾妻町、②東吾妻町～旧六合村)の工事を優先的に進めたことにより、中之条町区間と長野原町区間が開通し、山村地域の道路網としてより一層の活用が期待される。

現在の進捗状況はやや遅れ気味であるが、今後は縦道である現道を利用し、区間②の改築工事約2.2kmを2工区で実施するとともに、区間③④の開設工事約14kmの整備を4工区で実施し、事業予算の確保にも努め、早期に全線開通を目指す。

長期間の事業となっているが、吾嬭山線は森林整備のための骨格的な路線で山村地域の生活道としても必要であり、事業継続は妥当である。